

正誤表

『病棟血糖管理マニュアル—理論と実践— 第2版』（第1刷，2014年5月30日発行）に誤りがございました。下記の通り訂正し、お詫び申し上げます。

金原出版株式会社

記

◆91ページ 上から11～12行目

【誤】生食のNa濃度は130mEq/L程度であるが、

【正】生食のNa濃度は**154mEq/L**（浸透圧282mOsm/kg・H₂O）程度であるが、水欠乏量の推定式で0.6は0.5とすることもある 下の注を参照

◆169ページ 表III-7 最下行

【誤】トレシーバ® 72時間

【正】トレシーバ® **42時間**

◆184ページ 問1の答に追記

【追記】ただし2015年10月発売のランタス®XR注ソロスター® は**300単位**

◆187ページ 問10の答と解説

【正】

答：**47mg/dL**。

解説：SU薬の過剰投与やインスリンを若干多めに使用しただけでは末梢組織のブドウ糖利用は起こりにくい。肝糖産生抑制は簡単に起こり得る。1時間後にブドウ糖の分布するスペースから**9.9g（=9,900mg）**のブドウ糖が減少する。ブドウ糖の分布するスペースは**187.5dL（=75kg/L×1/4×10dL/L）**であり、血糖値は**52.8mg/dL（=9,900mg÷187.5dL）**減少する。もとの血糖値は100mg/dLなので、1時間後の血糖値は**47.2mg/dL**である。

◆202ページ 文献12)

【誤】日本糖尿病学会：糖尿病治療ガイド 2014-2015 血糖コントロール目標改訂版，文光堂，2014。

【正】日本糖尿病学会：糖尿病治療ガイド 2014-2015，文光堂，2014。

以上

注

脱水時係数は体内水分量として0.5を使っている成書もある。
水不足量は血糖で補正したNa濃度(PG100mg/dL上昇ごとに2mEq/L低下)を用いるとよいであろう。p89の浸透圧より下の式で計算してもよいかもしれない。
水不足量=0.6×体重(kg)×(1 - 280/計算した浸透圧)